

N0320

泉南走ろう会

先鋒 泉南スポーツ社
0724 (83) 4653

例会

十月十二日(日)

九時 集合

場所 種河神社

十月より集合時間が九時に変更になります。注意して下さい。

十月二十六日(日)

この日は和歌山ジャズマラソン参加のため例会は行いません。

ジャズマラソンに参加されない方は各人で練習を行って下さい。

1. 大会案内

● 龍神温泉ハーフマラソン 十二月七日(日)

昨年は、二十回記念大会でもあり景品も多く泉南走ろう会では、2人の方が豪華景品を獲得されましたが、今年も運が良ければ豪華景品が当たるかもしれません。是非一度参加してみても如何でしょうか。因みにこの季節柄雪の中での大会となることもしばしばですが、なんとと言ってもレース後の温泉が疲れた体を最高の気分にししてくれます。

● 紀州口熊野マラソン 二月一日(日)

この大会に昨年始めてフルマラソンの部門に参加しましたが、他にもハーフ、五キロ、三キロと種目も色々あり参加者も多く楽しい大会だと思います。時間的にも今は、白浜まで高速もあり2時間前後で会場に行ける手頃な大会だと思います。但し、今年は十津川マラソンとかち合う可能性があります。何れにせよ一度は参加したい大会の一つかと思えます。



2. 大会結果

● 神鍋高原マラソン

八月三十一日(日)

今年も例年通り泉南走ろう会から堀池さん、川嶋さん、森野さん、西さん(家族)、岡田と会社の友達の参加で、今回は腰痛のためレースには出ませんでした。栗野原会長も同行されました。前日の十二時頃新家を出て神鍋に4時過ぎに到着、今まで何度となく神鍋に来ていましたが、今回初めて植村直己館を見学し、すごい冒険家であったことを知ると共に人間的にも多くの人から尊敬された方であったことに感動しました。皆さんもチャンスがあれば一度見学してみる価値はあると思います。

大会に關してですが、今年はそれほど暑くなかったと思うのですが、結果は、情けないことにゴール後旅館に帰った所で気分が悪くなり貧血で倒れてしまいました。一昨年は、一周でリタイアするなど此処のところ神鍋は私にとって鬼門の様です。

08年走行距離

氏名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
芝本 鈴代	月	542	540	369	0	0	0	131	275
	累計	542	1,082	1,451	1,451	1,451	1,451	1,582	1,857
今仁 正義	月	233	188	159	233	357	165	136	179
	累計	233	421	580	813	1,170	1,335	1,471	1,650
堀池 一夫	月	134	103	113	115	89	105	97	154
	累計	134	237	350	465	554	659	756	910
栗野原泰正	月	60	80	100	80	70	50		
	累計	60	140	240	320	390	440		
岡田 盛助	月	380	252	192	231	358	281	223	242
	累計	380	632	724	955	1,313	1,594	1,817	2,059
西 和秀	月	130	90	110	90	110	100		110
	累計	130	220	330	420	530	630	740	

天声人語

悲喜こもも屈く北京五輪のニュースの中で、それは悲を起して「泣」に近い衝撃だった。野口みずき選手(30)の欠場である。4年ごとの舞台に合わせ、きりぎりまで筋肉をいじめてくる一流ランナーの厳しさを思う▼北京の切符を手にした昨秋の東京国際女子マラソンを間近で見た。手を横に振り、弾むような大股で地をける。小遣い銭を握りしめ、菓子屋に急ぐ子どもに例えては失礼だろうか。小さな体が走る喜びを発散していた▼女子マラソンの系譜を顧みれば、有森裕子さんには禁欲的な美しき、高橋尚子さんには精密機械のすじみがあった。野口さんには、荒野で鍛え抜いた脚力を感じる。跳んで弾んで「鳥の単一」へと独走する絵を見たかった。じつぐり養生してほしい▼政治が絡む五輪には虚実が交じる。特に北京の開会式は「虚」の世界だった。千発もの「消雨弾」が雲に撃ち込まれ、花火の映像は一部CG、美少女の独唱は口パクだった。裏で歌ったのは、見た目は及ぶが声は一番とされた別の少女である。音楽総監督は「国益を考えた」と明かした▼対照的に、野口さんの決断は「実」そのものだ。「今も走りたい、走らなくなるとは消えることではありません」。しかし「ここで無理すれば選手生命が危うい。肉体を苦使する仕事の、残酷なまでの正直さである▼北京では連日、研ぎ澄ました肉体と精神が正直におつかり合っている。北島康介選手の金も、谷亮子選手の銅も、あらゆる「虚」を排した実力勝負の結果だ。だから勝者は輝き、敗者もまた美しい。

三本針代

上の記事は朝日新聞の
天声人語というコラムに
のっていた記事です。私も
同じ意見見たという事で
知り抜いて、とっておきました
私はオリンピックのころ
足リ故障で、走れなかった。
野口みずき選手の走りを
見て、元気をもらおうと
思っていました。仕事も、女子
マラソンのある日は、早々に
休みして、ライフで、フル
マラソンを走ることもあって
いました。すると野口みずき
選手が選手の欠場。
川マラソンで、野口選手を
目の前で見ました。ほんと、小さな
女の子という感じでした。私は、
その体に似合わない、うかりな
走りを、尊敬してました。また
川が、復帰して、すばらしい
走りを目撃してほしいです。